



卒業後の相談先は？ # 個別の移行支援計画

学校を卒業し、会社や福祉事業所へ勤め始めると「困った時にどこに相談したらよいのだろう・・・？」と心配の声を耳にします。本校でも卒業のタイミングで“個別移行支援計画（C票）”を作成します。移行支援計画（C票）には、本人の願い、卒業後に支援をしてくれる機関名と連絡先が記入されています。（市町村の障害福祉課や基幹相談支援センター、障がい者就業・生活支援センター等）生活や仕事に関する相談、障害基礎年金の相談など、内容に応じて様々な機関の支援を受けることができます。

卒業時には“個別の教育支援計画A票・B票”と“個別の移行支援計画C票”を各関係機関に引き継ぎ、学校と連携しながら自立に向けた支援をしていきます。なお、個別の移行支援計画C票の作成、引継ぎにあたっては、本人および保護者に内容を確認していただくとともに、署名・捺印をいただいています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【引き継ぎに関する資料】

【個別の教育支援計画A票】

記載内容

- ・本人の成育歴
- ・本人のプロフィール
- ・連携、支援の記録

【個別の教育支援計画B票】

記載内容

- ・本人、保護者の願い
- ・支援目標と評価
- ・本人に関する機関一覧

【個別の移行支援計画C票】

記載内容

- ・本人の願い
- ・連携機関、連絡先一覧

【私の取り扱い説明書】

記載内容

- ・本人の障害や特徴の説明

※「A票,B票,C票」は、保護者と確認しながら学校で作成します。

※「私の取り扱い説明書」は担任と一緒に考えながら、本人が作成します。

働くために必要な力 # それって、実際どうですか？

「学校の先生たちは“〇〇が大切だ”と言うけれど会社ではどうなんですか？」という疑問や質問にお答えいただく学習会を実施しました。富岳通運株式会社の高野様、株式会社甲府明電舎の中澤様、山梨トヨペット株式会社の別符様の3名の方にご来校いただきました。学習会では、“挨拶はコミュニケーションの第一歩です。” “仕事は面倒で辛抱が必要です。” など、様々な疑問にお答えいただきました。詳しくは、桃花台学園HPのブログをご覧ください。



各学年の # 進路の学び

1年 # 初めての個人実習 初めての現場実習を終え、6日間の取り組みを振り返ります。

2年 # エントリーシート 進路面談を行い、卒業後の進路について改めて考え始めます。

3年 # 進路先が決まった 内定通知が届き、より一層、気を引き締めて生活します。

